

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17109015	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	脱髄性神経損傷に起因する難治性神経因性疼痛の治療標的分子の同定	研究代表者 (所属・職)	植田 弘師（長崎大学・大学院医歯薬学総合研究科・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>アロディニアと疼痛過敏の分子基盤に関する研究において、特異的分子 ADS（仮称）の発見と神経因性疼痛に対しミサイル療法による神経因性疼痛抑制法の確立、さらに、アロディニア現象と上位脳レベルでの神経可塑的变化の可視化技術を開発し、神経因性疼痛にリゾホスファチジン酸（LPA）が脊髄後根で限局発現するなど、その機序を明らかにし、着実に成果を上げていると判断する。</p> <p>今後は、研究項目が多岐に涉っているが、異なる難治性脱髄性神経因性疼痛の病態、機構の更なる解明を期待する。</p>		

【平成22年度 検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。
-----------------------